

選手直前インタビュー
俺の出番だ!!



和田 真久留

(神奈川/99期)

平塚記念は重要な大会なので、自信を持って臨みたい。風邪が長引いて調子を落としたが、少しずつ立て直してきた。体調には気を付けたいですね。昨年の決勝は南関が5人乗ったのに呼吸が合わなくて空中分解。今年はその経験を活かしたい。

佐藤 龍二

(神奈川/94期)

(1月)小倉(F1)の落車で手の甲を痛めただけ、傷のほうは完治しました。(3月)平は初日、2日目と先行して決勝に勝ち上がれましたし、いい手応えをつかめました。地元記念はしっかり決勝に乗って、優勝争いにからめるように頑張ります。



庄子 信弘 (宮城/84期)

1月伊東1①②着、3月久留米2①①着など、まぐり主体の競走で好成績を残していて、今期の連対率は57.6%を誇る。5月にはG1初参戦のダービーが控えているだけに弾みを付けられるような激走を演じるか。



森山 智徳 (熊本/98期)

自慢のスピードに一段と磨きがかかる、2月奈良1①⑤着、3月立川1②⑨着など、散発的ながら準決でも連にかんでいる。当所はスピードが生きるバンクでもあり、予選、選抜クラスは好勝負が期待できる。



神田 龍 (三重/105期)

最近は動きがいい。2月静岡記念では二次予選Bで勝ち星をゲット。その後も3月豊橋は3②着で決勝に乗ると、同月久留米G3では予選敗退も7①①着と2勝を挙げた。同格戦は連の対象から外せない。

S級ブロックセブン

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

飛び出せば面白いが…。
佐藤幸司・石丸寛之・石口
慶多・鈴木幸紀の抵抗はどう
ここまで。3月向日町1①⑨着
と復調気配の佐藤の一発が

し切りも。
決着を付ける。岡村の差し切
りも互角。久留米G3決勝で
は櫻井・菅田に統けず大敗
したが、すんなりなら楽に差

た。ここはラインの先頭での
競走に戻るが、ラインも長く
なるし、全日本選抜で3勝し
たスピードのキレ抜群のま
ぐりにだけこだわらず、先行
も視野に入れた組み立てで

菅田壱道、
岡村潤の一騎打ち

4/12 (最終日) 6R



菅田 壱道